

男女共同参画社会に関するアンケート調査 結果報告

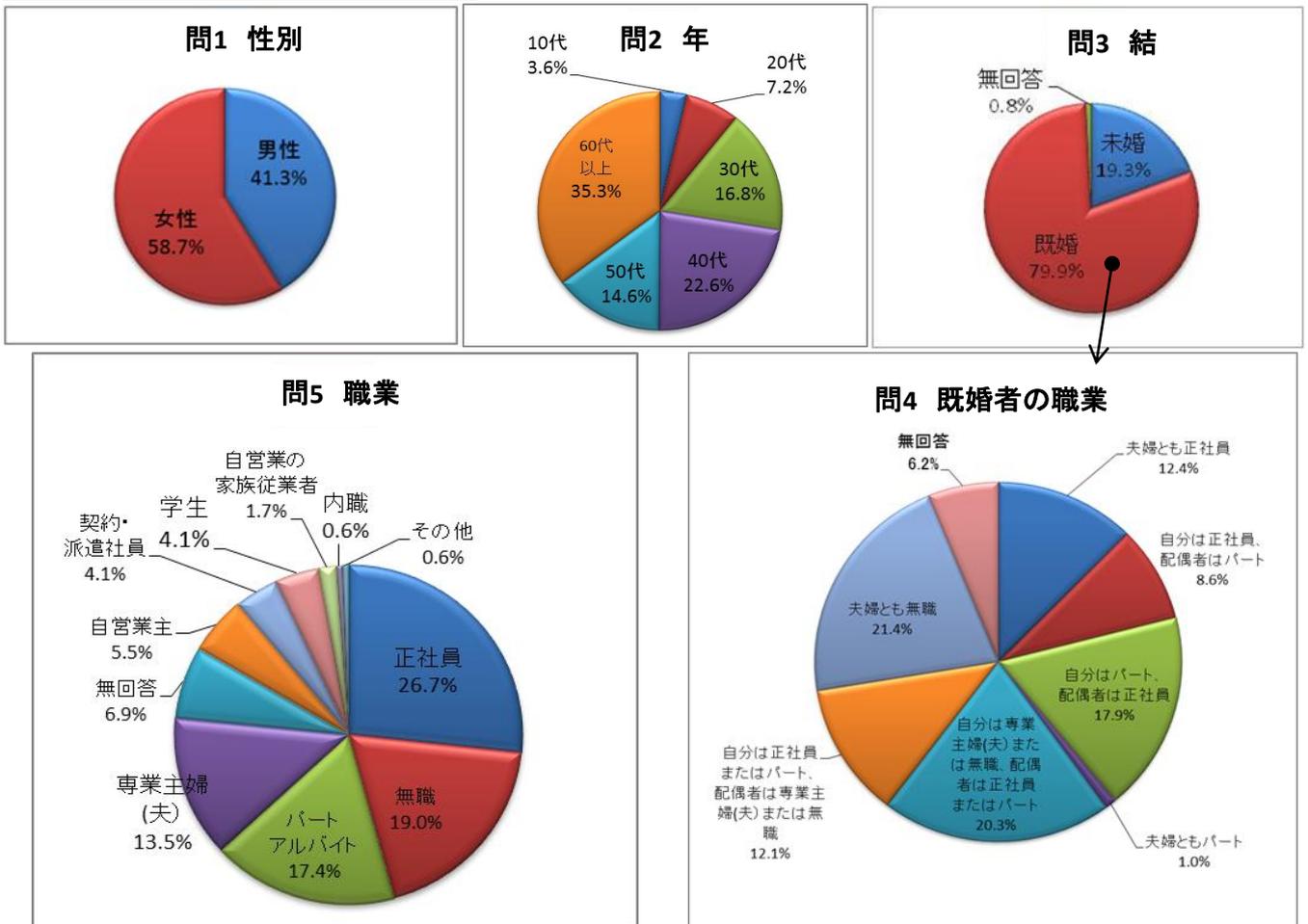
<調査方法>

- 調査対象 みよし市内在住の16歳以上の男女各500名（無作為抽出）
- 調査期間 平成25年5月24日（金）から6月12日（水）まで
- 調査方法 郵送による調査表の配布及び回収

<回答数> 365通（うち有効回答数363通）

<回収率> 36.5%

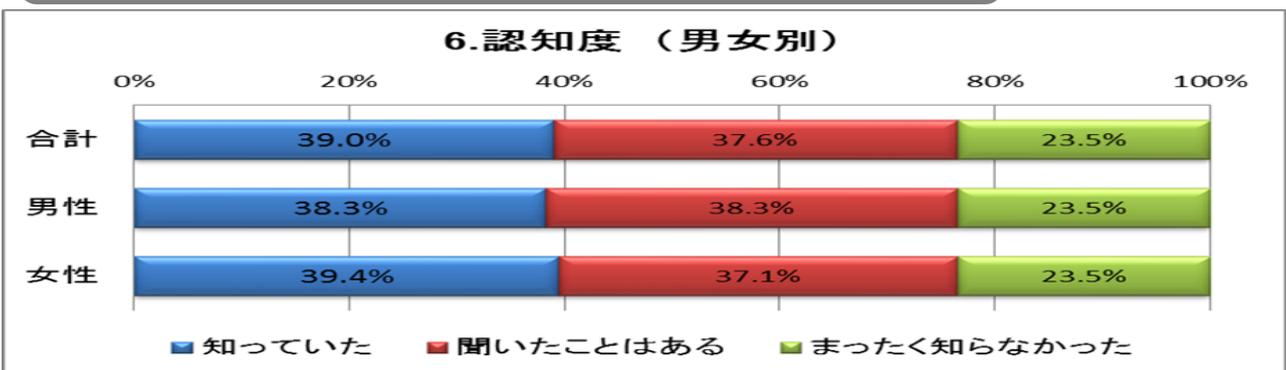
A. 回答者の属性(年齢、家族な



- ・H19年度に実施したアンケート調査の結果は、性別、結婚については今回調査とほぼ同じ割合だったが、年代は30代が22%、40代、50代、60代がいずれも約20%だった。
- ・既婚者の職業は、H19年度は片働き家庭38%、共働き(パートタイム等含む)家庭46%、夫婦とも無職9.5%。「夫婦とも正社員」と答えた割合は14.7%だった。

B. 男女共同参画社会の意識について

問6 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていましたか。
あてはまる番号に○を付けてください。



*「知っていた」「聞いたことはある」の割合

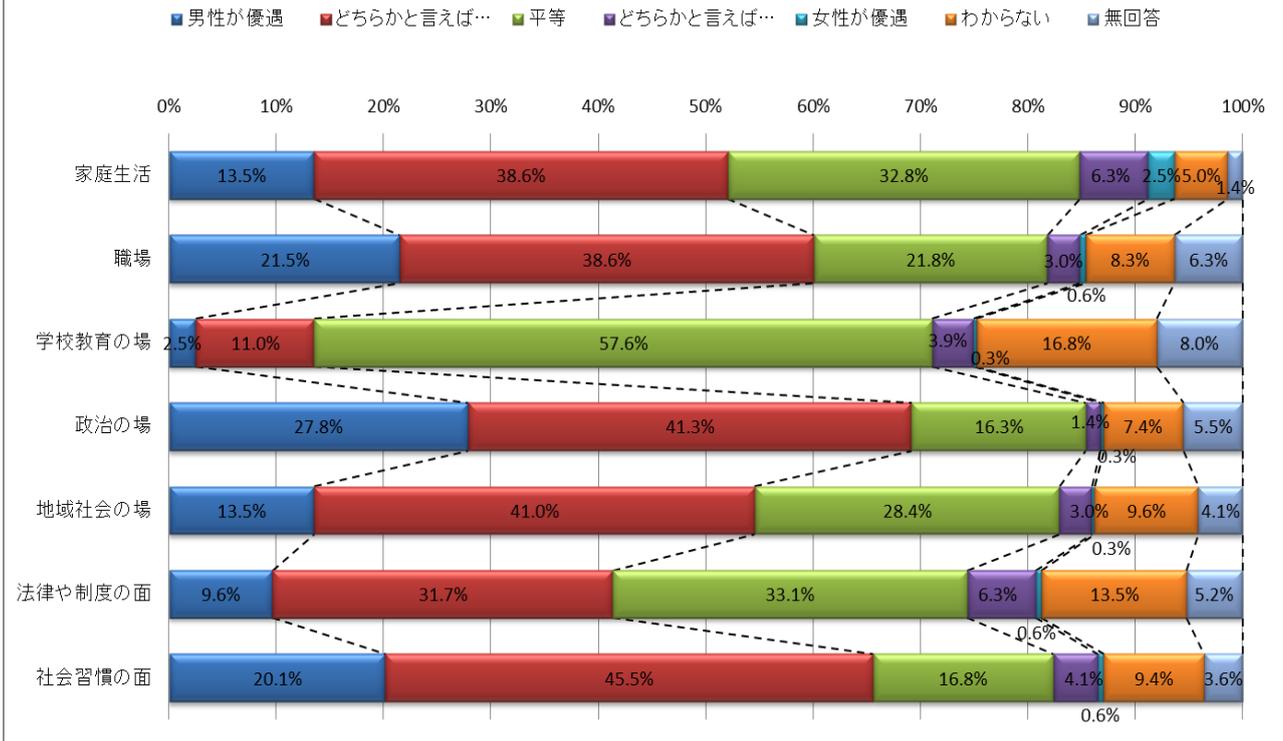
H19調査	H25調査
72.0%	76.6%

『パートナー』数値目標

数値目標(H25)
「男女共同参画社会」の認知度 65%

問7 家庭生活等それぞれの場面で、男女の地位が平等になっていると思いますか。
それぞれの質問項目で、あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

7.男女平等

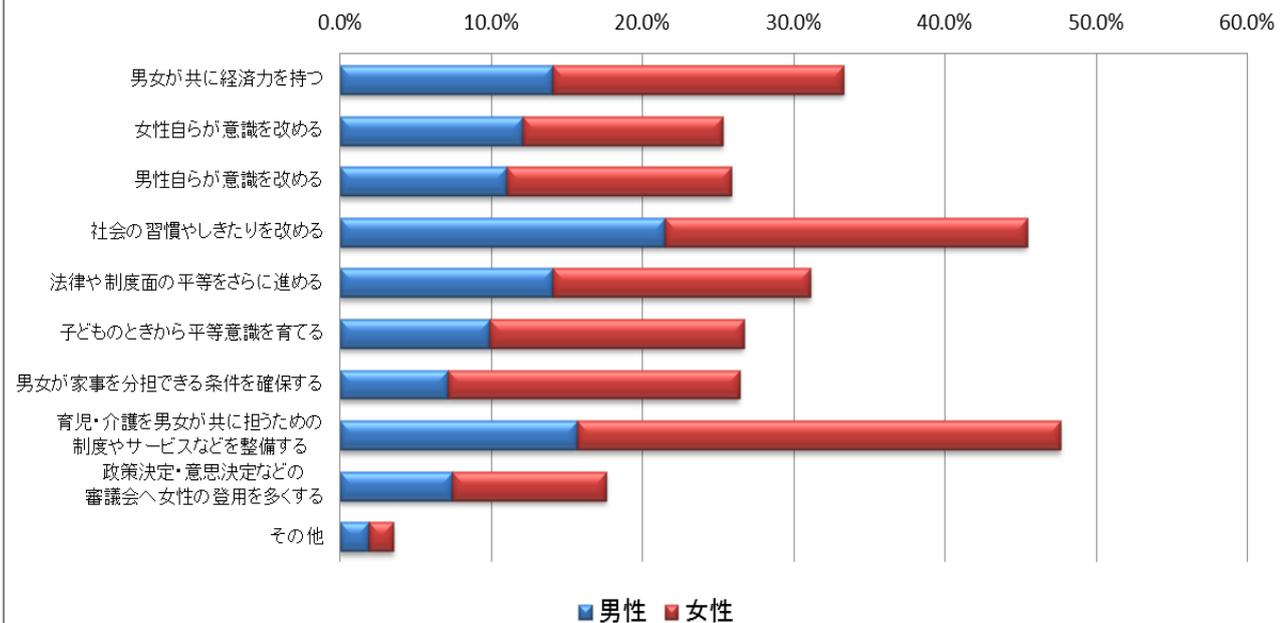


『パートナ』数値目標 *「平等である」と答えた人の割合

	H19調査結果	H25調査結果	数値目標(H25)
家庭生活	36.2%	32.8%	45%
職場	22.6%	21.8%	25%
学校教育の場	52.3%	57.6%	65%
政治の場	15.4%	16.3%	25%
地域社会の場	26.7%	28.4%	—
法律や制度の面	35.0%	33.1%	40%
社会習慣の面	14.8%	16.8%	20%

問8 あなたは、男女が社会のあらゆる分野で平等になるためには、何が重要だと思いますか。重要だと思うもの3つ選んで○を付けてください。

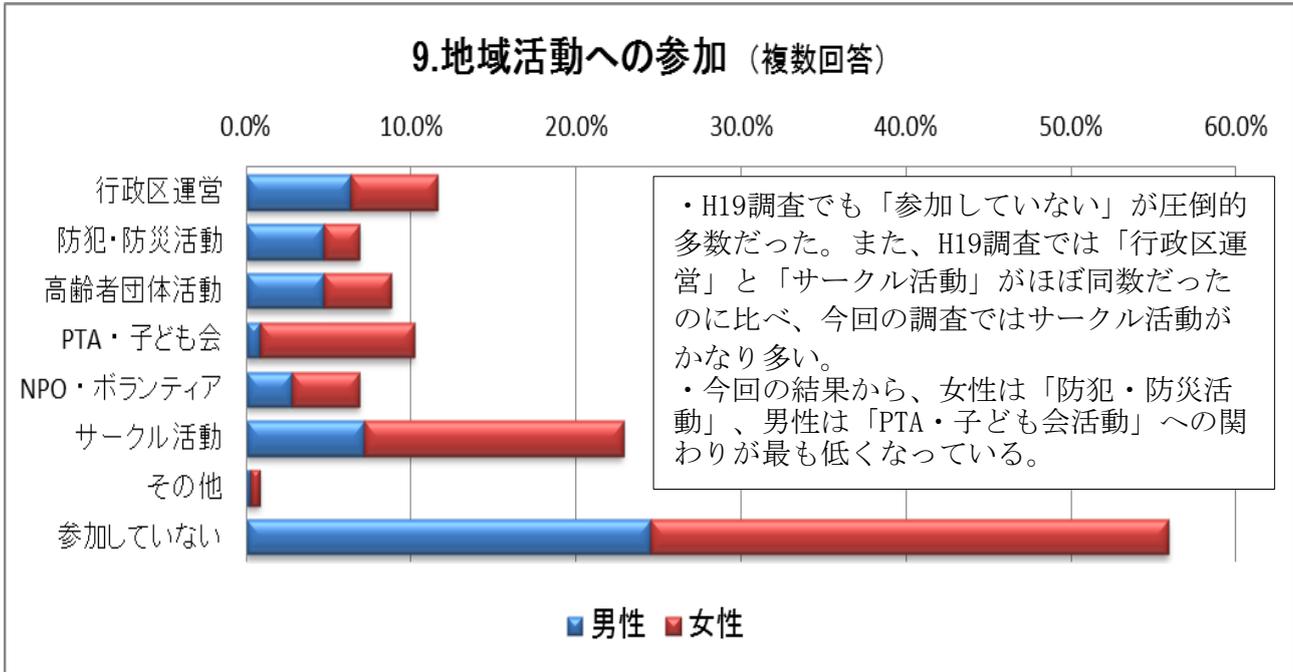
8.社会のあらゆる分野で平等になるために重要な点 (複数回答)



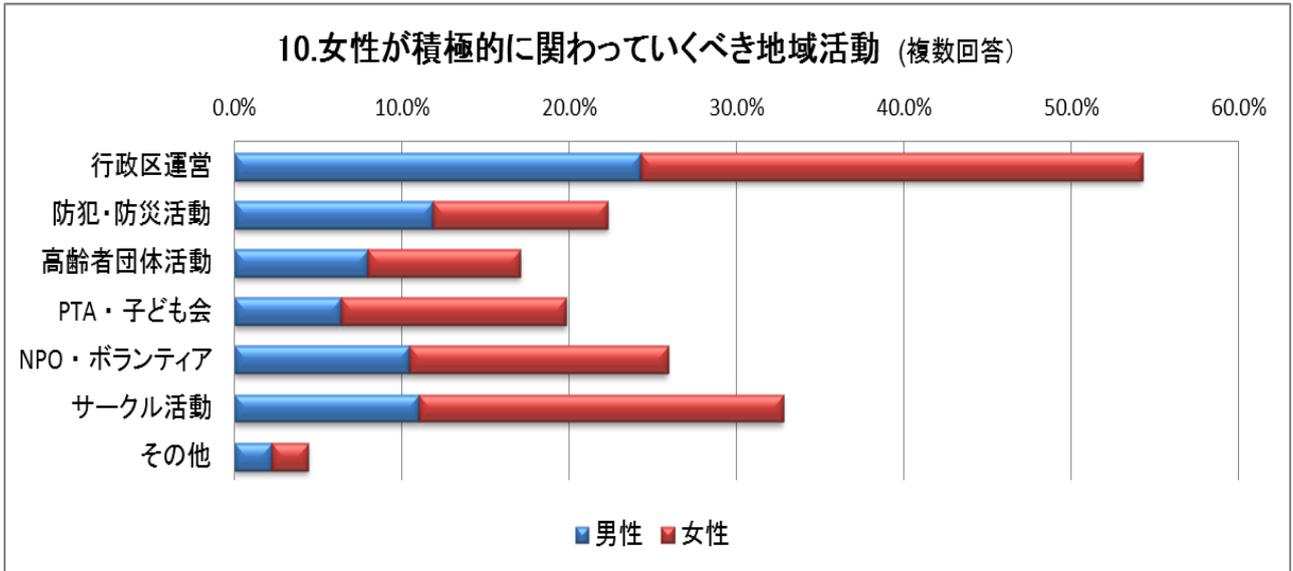
H19調査では、最も多かったのが「社会の習慣やしきたりを改める」、次いで「育児・介護を男女が共に担うための制度やサービスなどを整備する」。また、H19年度調査では「男性自らが意識を改める」に比べて「女性自らが意識を改める」と回答した人の数は半数程度だったが、今回の調査ではほぼ同数である。

C. 地域における男女共同参画について

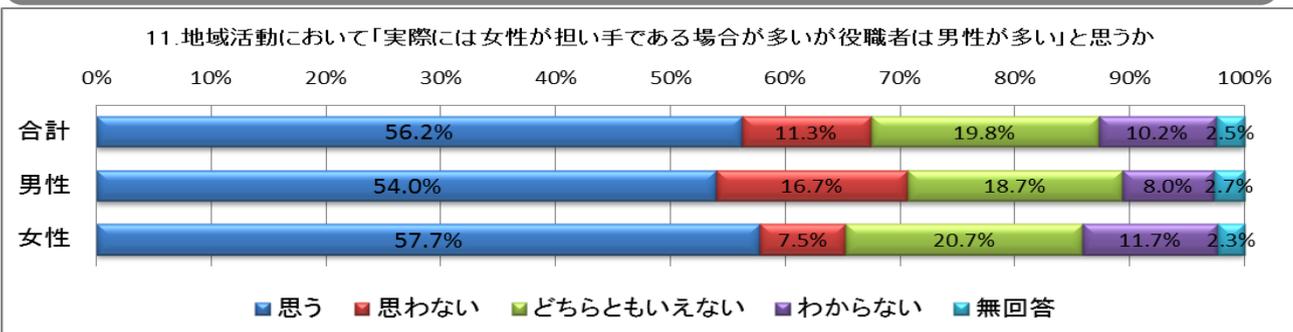
問9 あなたは現在、自主的な地域活動に参加されていますか。
あてはまる番号すべてに○を付けてください。



問10 今後女性が積極的に関わっていくべきだと思う地域活動は、どのようなものですか。
あてはまる番号すべてに○を付けてください。



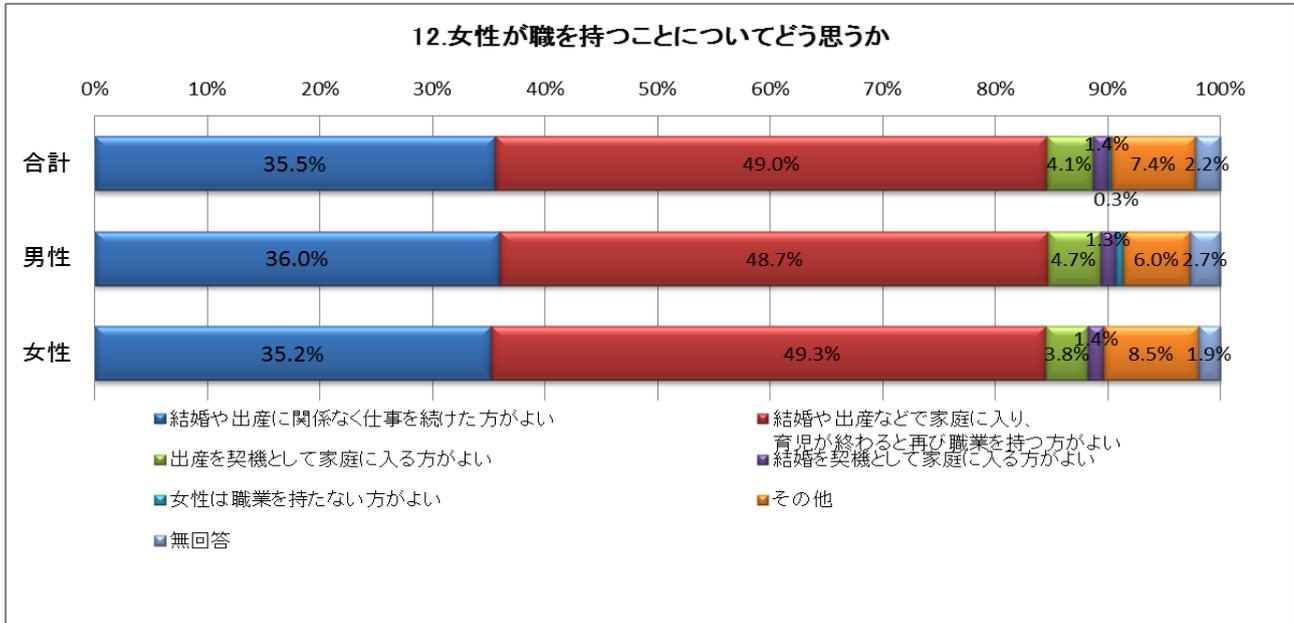
問11 地域活動において「実際には女性が担い手である場合が多いが役職者は男性が多い」と思うか
付けてください。



H19調査では、男女共に約48%が「そう思う」と回答。今回の調査では、男性も女性も半数以上が「そう思う」を選んでいる。

D. 仕事、家庭生活における男女共同参画について

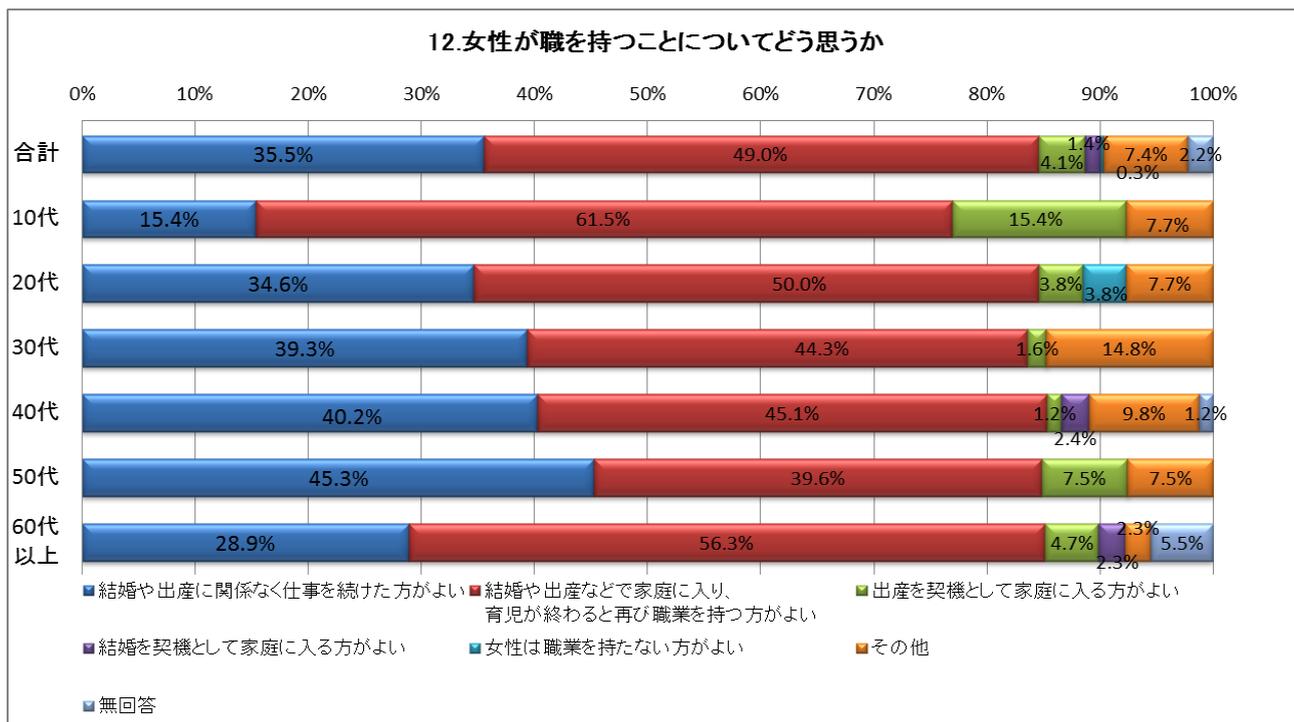
問12 あなたは、女性が職を持つことについてどう思いますか。あてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。



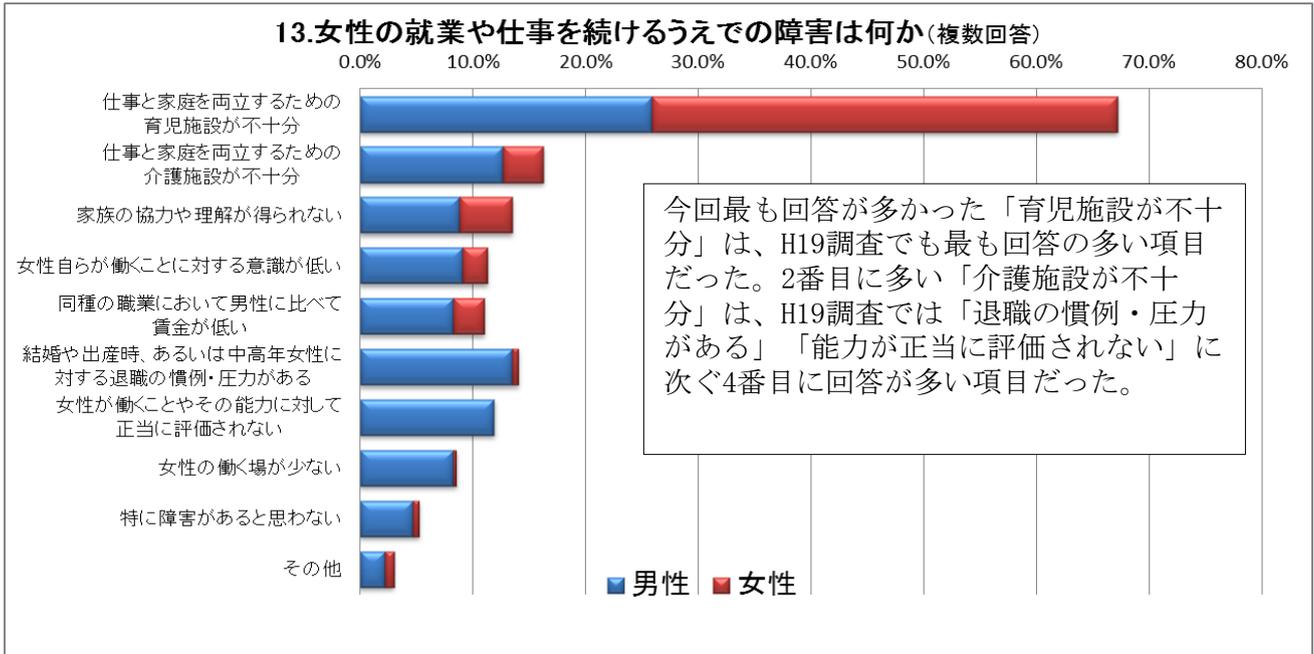
H19調査では「結婚や出産に関係なく仕事を続けた方がよい」が全体で21.7%、「育児が終わると再び職業を持つ方がよい」が57.3%（計79%）だったが、今回はそれぞれ35.5%、49.0%（計84.1%）に増加。その他の意見として多かったのは「個人の自由だから決めるべきではない」「状況によって異なるから一概に言えない」等。

<参考>

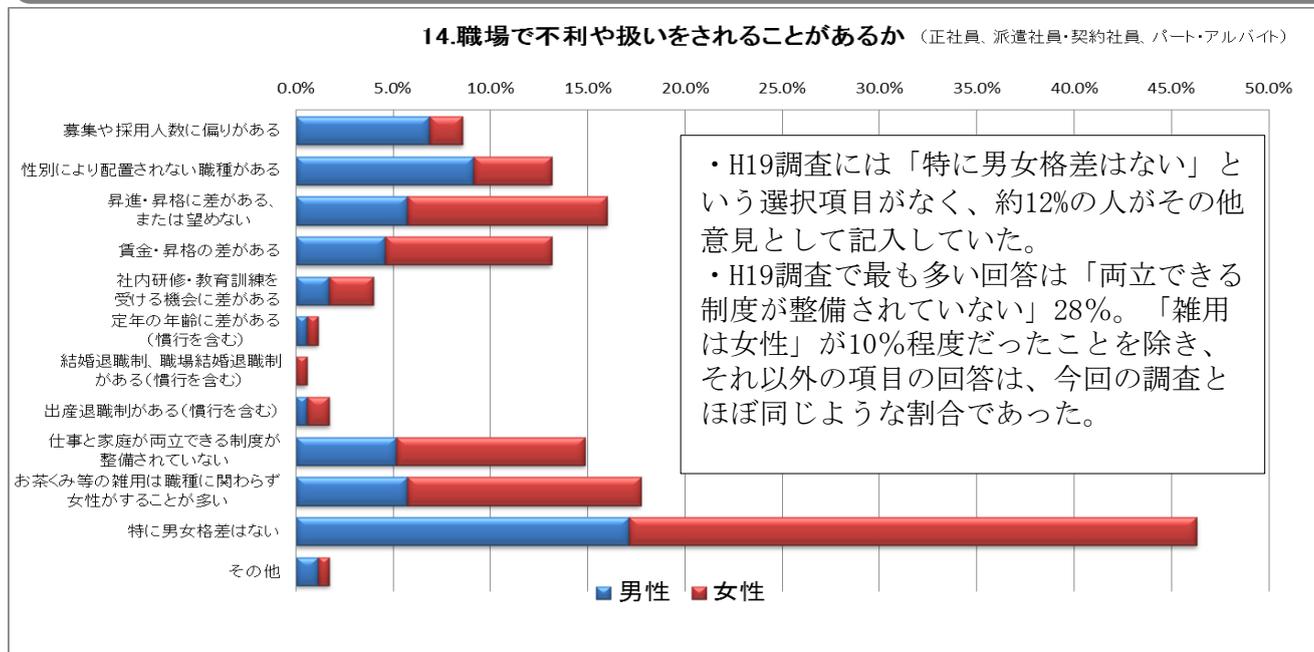
国の調査（H21年度実施）では、「仕事を続けた方がよい」45.9%、「育児が終わると再び職業を持つ方がよい」31.3%（計77.2%）。愛知県の調査（H20年度実施）では、「仕事を続けた方がよい」32.6%、「育児が終わると再び職業を持つ方がよい」43.1%（計75.7%）。



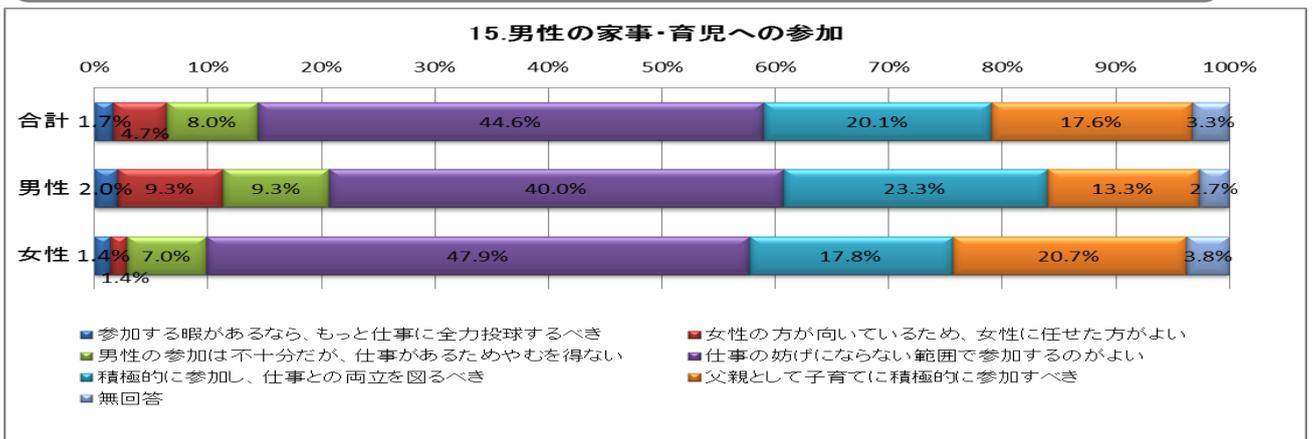
問13 あなたは、女性が職業に就いたり、仕事を続けるうえで障害となっているのはなんだと思いますか。当てはまる番号を3つ選んで○をつけてください。



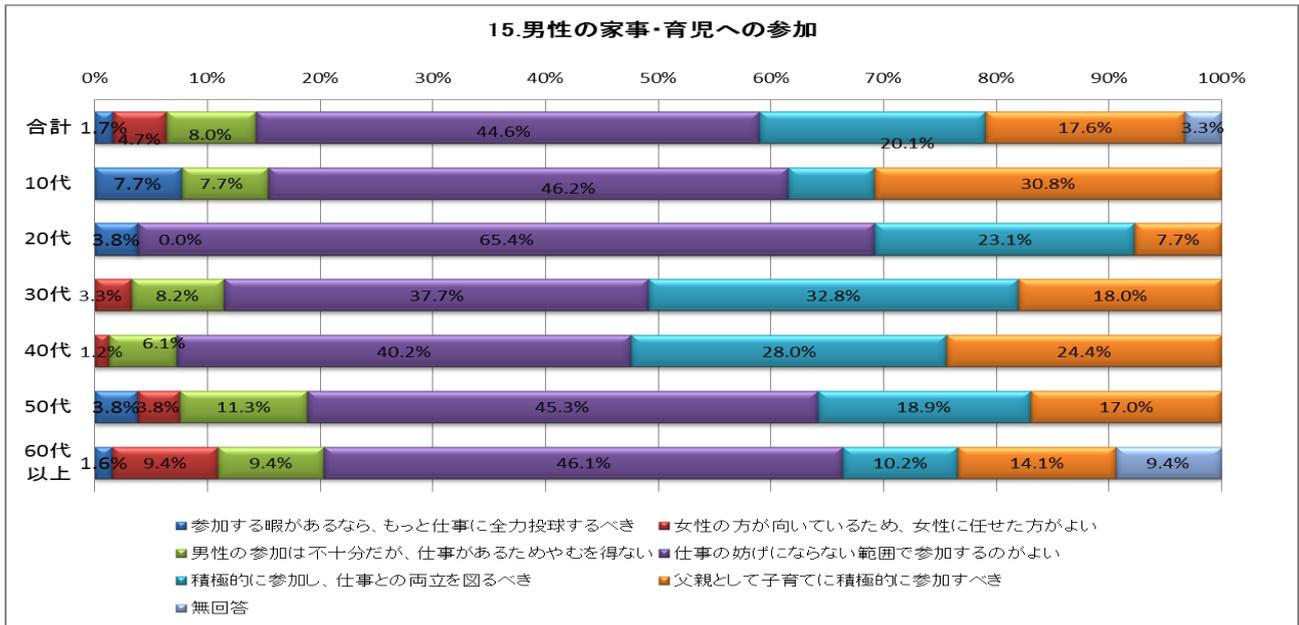
問14 <問5で働いていると答えた方>あなたの職場で、性別により不利な扱いをされることがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



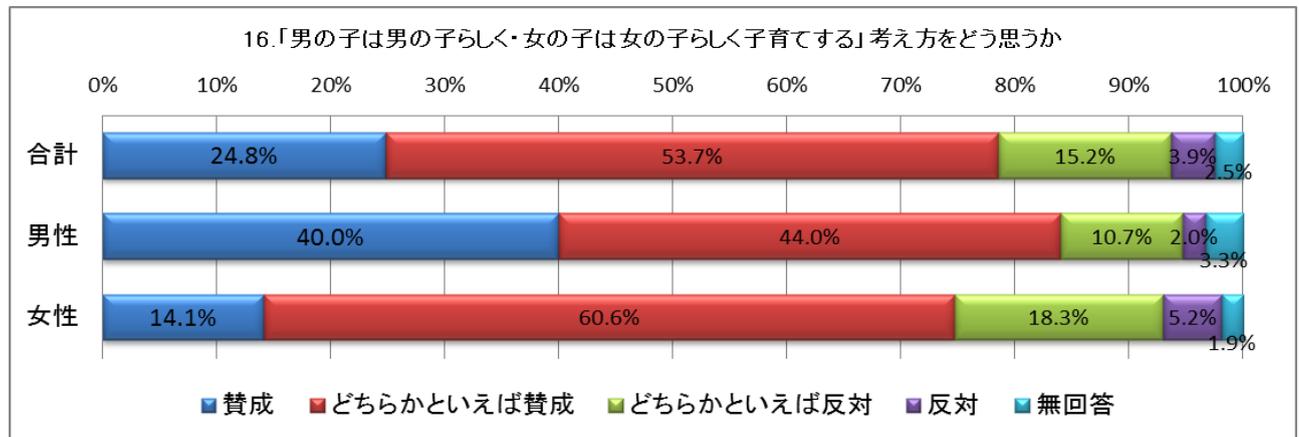
問15 あなたは、男性の家事・育児への参加をどのように思いますか。当てはまる番号を一つ選んで○をつけてください。



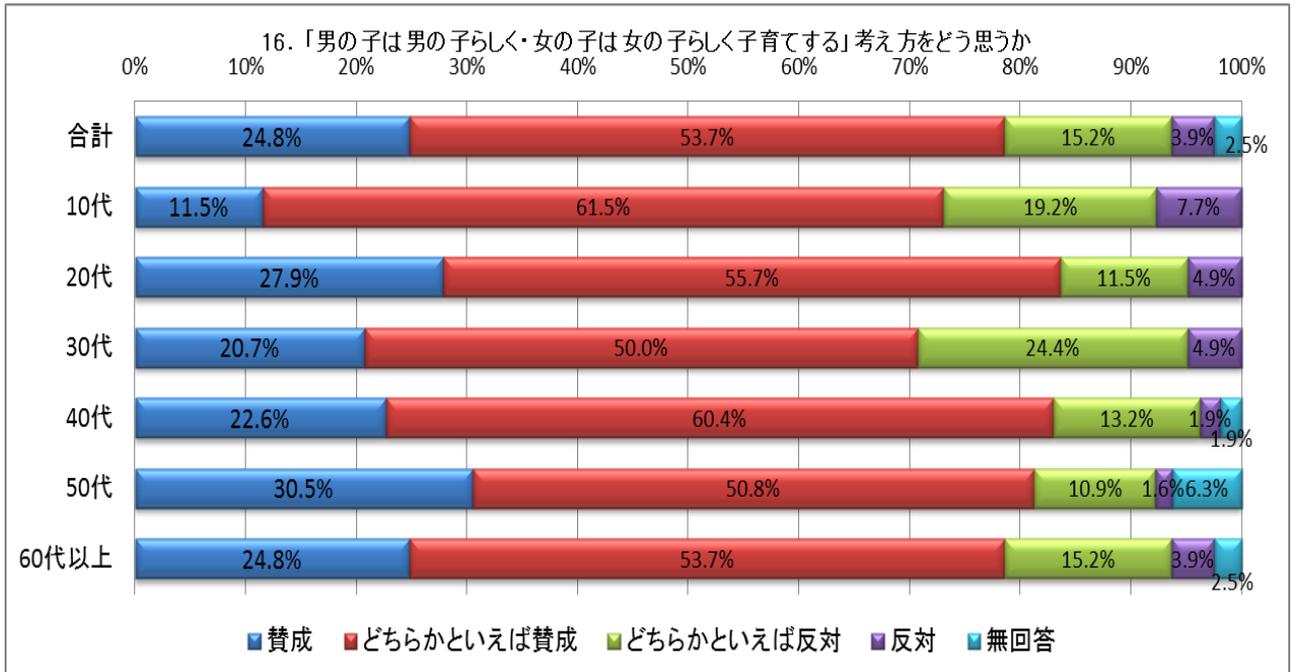
H19調査では「父親として子育てに参加すべき」43.8%、「仕事があるためやむを得ない」18.3%、「仕事の妨げにならない範囲で」17.3%「仕事と両立を図るべき」9.8%。



問16 「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく子育てする」という考え方をどう思いますか。当てはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

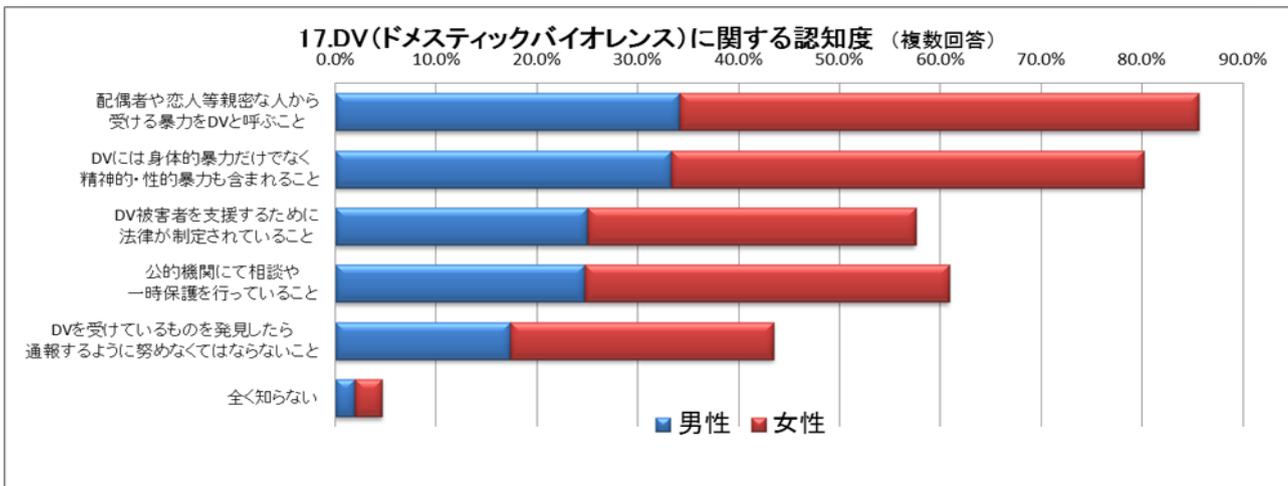


H19調査では、「賛成」が男性43%・女性23.6%・全体31.3%、「どちらかといえば賛成」が男性44.3%・女性53.3%・全体49.7%。

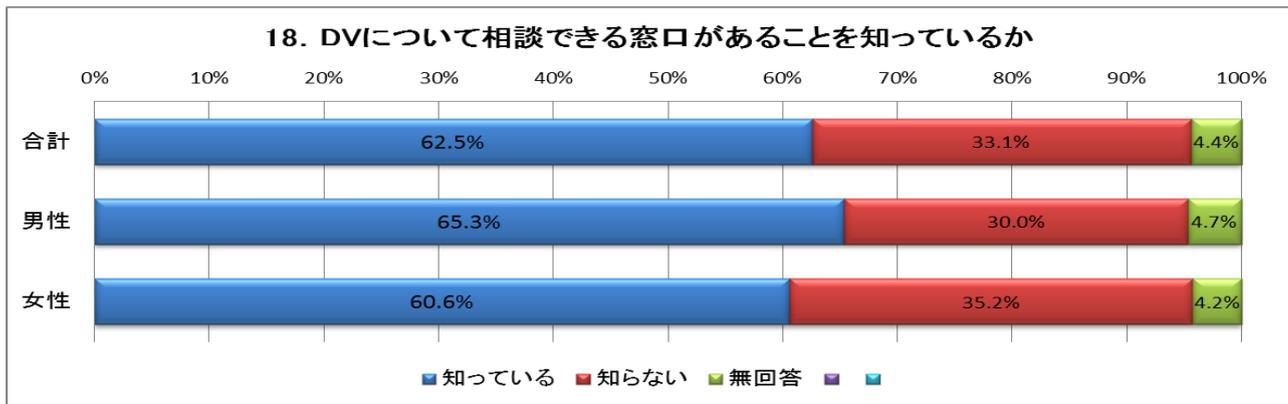


E. 配偶者や恋人からの暴力(DV)について

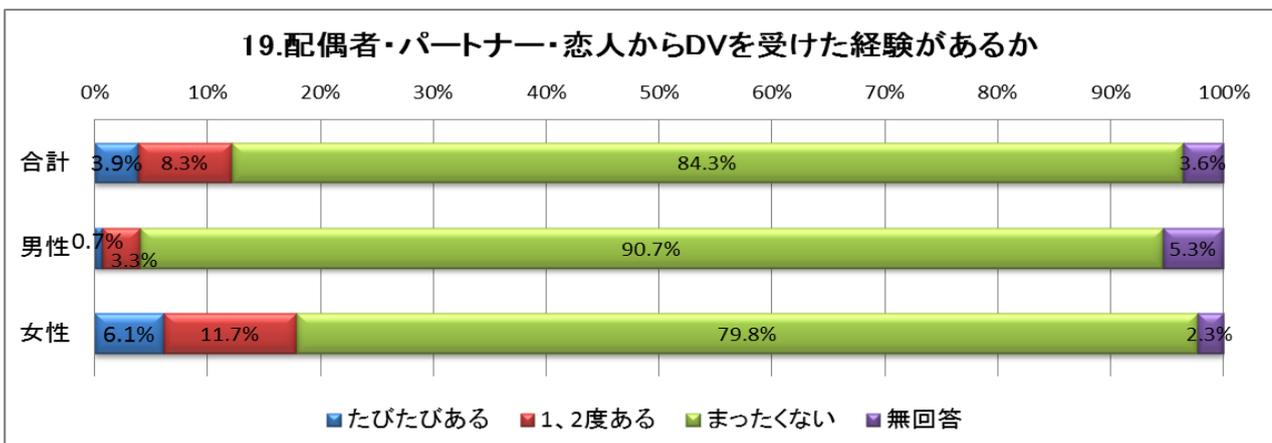
問17 あなたは、DV(ドメスティック・バイオレンス)に関する次のことを知っていましたか。知っていたことすべてに○を付けてください。



問18 あなたは、DVについて相談できる窓口があることを知っていますか。



問19 あなたは、配偶者・パートナー・恋人との間において、DVを受けた経験がありますか。

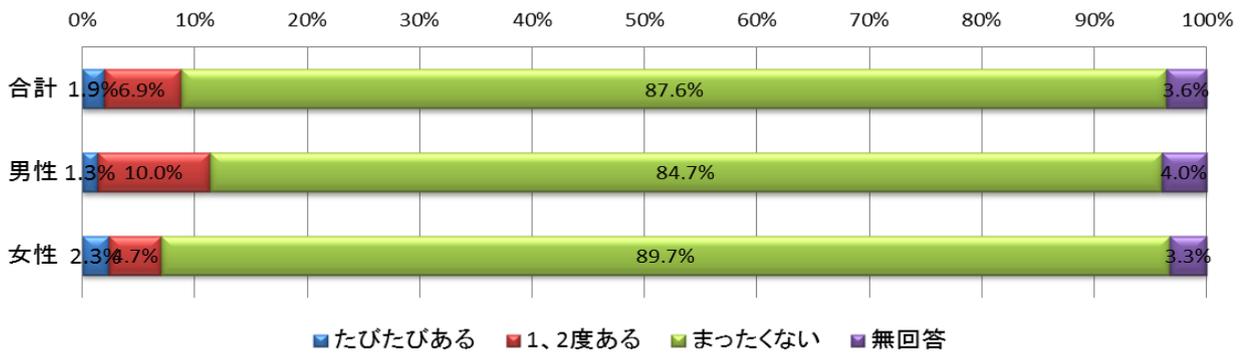


H19調査に比べて「まったくない」と回答した人が男性(87.1%→90.7%)、女性(76.0%→79.8%)とも増加。

全国調査(H20実施)では、「何度もあった」が男性2.9%・女性10.8%、「1、2度あった」が男性14.9%、女性22.4%という結果が出ている。

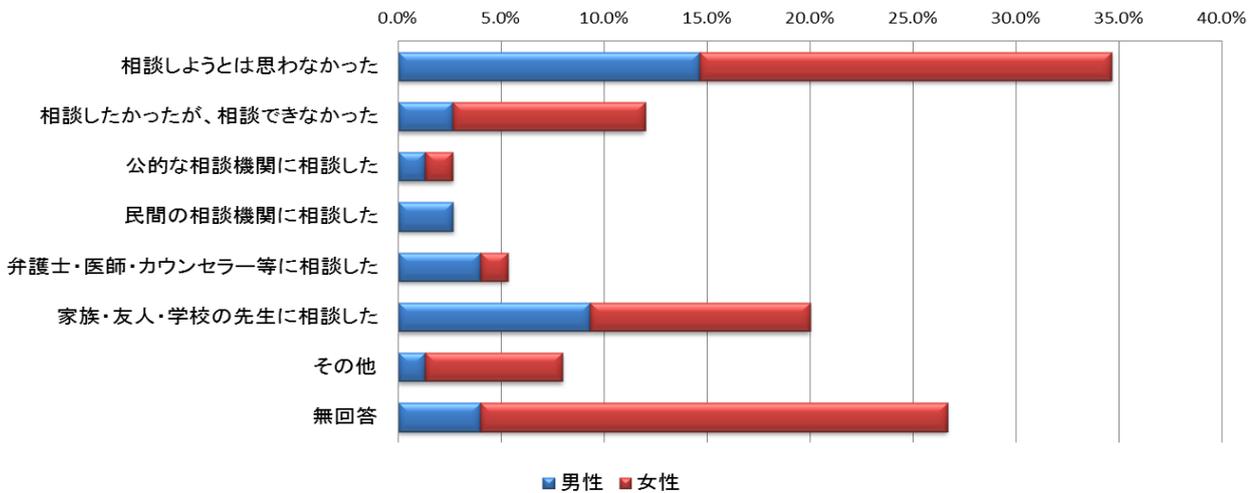
問20 あなたは、配偶者・パートナー・恋人との間において、DVに当てはまる行為をした経験がありますか。

20.配偶者・パートナー・恋人にDVにあてはまる行為をした経験があるか



問21 <<問19, 20で「たびたびある」「1, 2度ある」と答えた方におたずねします>
あなたはDVを経験した時、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

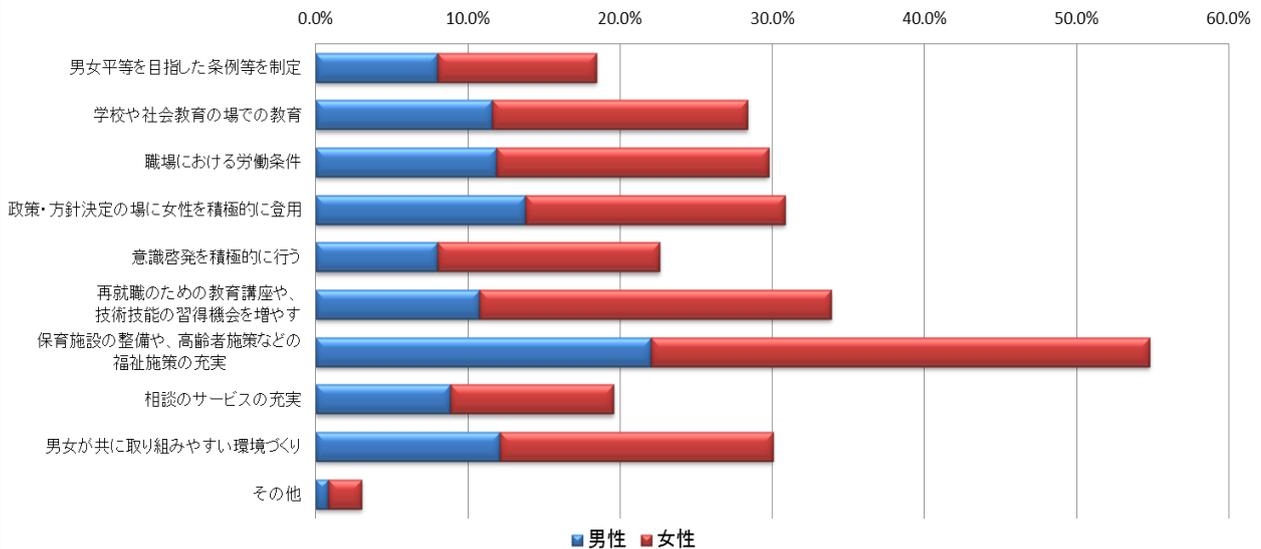
21. DVを経験した時に誰かに打ち明けたり相談をしたか



F. フランの推進体制について

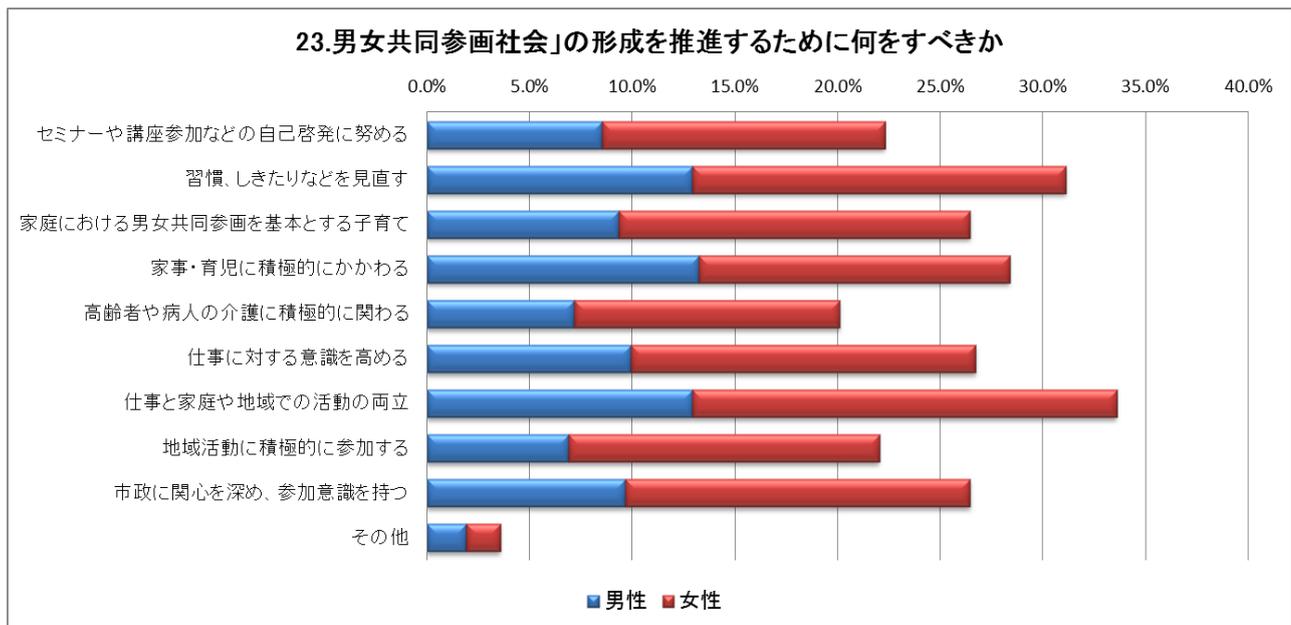
問22 男女共同参画社会の形成を推進するために、みよし市は特にどのようなところに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

22.男女共同参画社会の形成の推進のために力を入れていくべき点



H19調査でも、今回同様「福祉施策の充実」が突出して多く、次いで「条例等の制定」「学校や社会教育の場での教育」「職場における労働条件」がほぼ同数。今回2番目に多い「教育講座や技術技能の習得機会を増やす」は、H19調査では下から2番目に少ない回答数となっている。

問23 あなたは市民として、「男女共同参画社会」の形成を推進するために何をすべきだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



H19調査では「家事・育児に積極的に関わる」及び「仕事に対する意識を高める」の回答数が比較的少なかったが、今回は回答数が多い項目となっている。